

— 10月16日～24日、「いっぴんいち@日本橋問屋街」を開催 —  
 多様な事業者による、日本橋問屋街における新たな試み  
 事業化に向けプレマーケティングを実施する機会にも



期間：2021年10月16日～24日

画像：日本橋問屋街いっぴんいちマーク

独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）は、横山町馬喰町街づくり株式会社（以下「まち会社」）とともに、株式会社エンジョイワークスと連携して「日本橋横山町・馬喰町エリア参画推進プログラム（通称：さんかくプログラム）」を実施しております。このさんかくプログラムでは、当地域における遊休不動産を活用するアイデアがあり、まちづくりに参画する意向のある事業者を広く集め育てるプログラムです。6月より応募を開始し、現在二次選考まで終了しています。（詳細は下記参照）

この度、10月16日（土）～10月24日（日）に、さんかくプログラムの一環として、二次選考通過者の実証実験を実施すると同時に、合同会社パッチワークス唐品氏が運営するUR都市機構保有物件「+PLUSLOBBY 日本橋問屋街」と共同で「いっぴんいち@日本橋問屋街」（以下「いっぴんいち」）を開催します。

いっぴんいちでは、「逸品を一品のみ販売する」というコンセプトのもと、様々な事業者が出店し新たな小売りイベントを行います。実証実験参加者、地元企業による出店を予定しており、焼き芋や焼き菓子などの販売やセミオーダーのアパレルの試着、ダンス教室、電動トゥクトゥクの試乗などの出店を予定しています。

（注）日本橋問屋街全体で小売りをするものではありません。

いっぴんいちへ参加する業者はいっぴんいちマークがついているお店です。

#### 【実施概要】

名称：いっぴんいち@日本橋問屋街

開催日：2021年10月16日（土）～10月24日（日）

会場：日本橋問屋街エリア（日本橋横山町および日本橋馬喰町）

アクセス：JR馬喰町駅、都営浅草線東日本橋駅、都営新宿線馬喰横山駅 徒歩約5分

ウェブサイト：<https://hello-renovation.jp/nihonbashi>

本プログラムリリース記事：<https://enjoyworks.jp/news/8548>

#### ◆いっぴんいちについて

「みんなの逸品を一品持ち寄る」というコンセプトのもと、2016年から調布、虎ノ門、南青山などの都内各所で11回開催し、多い時では3,000人の方々にお越しいただいているイベントです。出店者が自信のある逸品を1種類に絞り、その商品のこだわりを来場者と会話することで、まちにファンを増やしていきます。今回日本橋横山町・馬喰町にて実施する「いっぴんいち@日本橋問屋街」では、10月16日から24日までの9日間に出品者ごとに自信のある逸品を販売や体験ができる機会をつくりまします。さんかくプログラムの参画者、地元企業など約30者の方々による出店を行います。



画像：「いっぴんいち」過去開催時の様子

#### ◆さんかくプログラムについて

日本最大の衣料品の問屋街である馬喰町問屋街・横山町問屋街では、商環境の変化等による問屋の減少に伴い、街並みの変化、建物の老朽化が進行しており、まち会社が主体となり、問屋街の活性化にむけた取り組みを開始しました。その後、まち会社と中央区の要請を受け、UR都市機構が「+PLUSLOBBY 日本橋問屋街」をはじめとする不動産の利活用によるまちの活性化にむけた取り組みを進め、2021年4月からまちの遊休不動産の活用やまちづくりに資する活動を行う人材を育てる「日本橋横山町・馬喰町エリア参画推進プログラム」が始まりました。



画像：さんかくプログラムイベント（現地視察）の様子

さんかくプログラムは、アイデアや想いのある中小事業者が事業を実現し、継続できるように計画をサポートする創業支援を行います。エントリーした事業者は書類審査と面談審査を通過すると、専門知識をもつメンターによるメンタリング（個別相談）に加え、事業性の事前検証が可能な現地での実証実験の機会を得ることができます。

6月より応募を開始し45名のエントリー者のうち22組の方々より正式に応募いただき、現在一次二次選考を経て11組の方々が必要計画を中心にメンタリングを実施しています。11月1日に最終プレゼンテーションを行い、まちの遊休不動産にて事業化を図る予定です。



横山町馬喰町街づくり株式会社  
代表取締役  
宮入 正英



日東タオル株式会社  
専務取締役  
鳥山 貴弘



UR都市機構  
坪田 華



合同会社バッチワークス  
唐品 知浩



株式会社u.company  
代表取締役  
内山 博文



株式会社オンデザインパートナーズ  
代表  
西田 司



株式会社エンjoyワークス  
代表取締役  
福田 和則

画像：さんかくプログラムメンターの一覧

### 【プログラム二次選考通過者の紹介】

プログラムの二次選考を通過した11組の事業者は、以下のとおりです。いっぴんいちへの出店については各事業者と調整中です。決定次第、出店日時を公式ウェブサイト( <https://hello-renovation.jp/nihonbashi> )に掲載いたします。

#### ● 電動トゥクトゥクによる新たなモビリティニーズの具体化

事業者：株式会社 eMoBi ( <https://www.emobi.co.jp/> )

家庭用電源で充電ができる電動トゥクトゥクを使ったサービスを行う学生ベンチャー企業。主に地方での事業展開をしている中、新たに都内での事業展開を目指す。実証実験では電動トゥクトゥクを稼働させ、日本橋問屋街周辺エリアでの新たなモビリティの可能性、ニーズを探る。

#### ● これからの”問屋”が集うコミュニティビル

事業者：株式会社 Culture Generation Japan ( <https://www.culgene.jp/> )

全国の工芸品の器をサブスクリプションで使うことができるサービスなど全国各地の窯元と提携し、工芸関連の事業を展開している。日本橋問屋街での展開を目指す中で当イベント出店者及び周辺の飲食店と協力し、和食器に触れられる機会の提供と「陶器市」を開催し、工芸品の物販に関する可能性を探る。

#### ● サウナ×インキュベーション施設

事業者：合同会社 ATI

銀座で起業家とヒト、モノ、カネを繋ぐ会員制 BAR Stage gate を経営しているベンチャー企業。サウナ併設のインキュベーションスタジオを作り、馬喰町を起点に新規ビジネスを立ち上げる起業家の支援を行う。実証実験は起業家が投資家へプレゼンするイベントのライブ実施を予定。※変更の場合あり

#### ● 問屋街の再編集「産業構造の再編集プロジェクト」

事業者：Japan asset management 株式会社 ( <http://japan-a-m.co.jp/> )

中小ビルの活用の企画プロデュースから設計までをワンストップで行う。中小事業者をサポートする様々なアイデアをもつベンチャー企業を誘致し、この地域にふさわしい新たな事業体を集積させるきっかけをつくる。実証実験の内容は計画中。

#### ● 暮らしにまつわるコアな体験を提供する商業ビルのブランディング

事業者：Inc-line Tokyo ( <https://inc-line.jp/> )

Japan asset management 株式会社 が運営する地域活性化やまちづくりを実践するプロフェッショナルなコミュニティ。本エリアで近年増えるファミリー層や若年層に向け、暮らしを豊かにするコアな店舗を誘致し、ビルのブランディングを図る。実証実験の内容は計画中。

#### ● 人と人とを繋ぐ焼き芋ブランドづくり

事業者：Oimo 森迫信太郎

「カラダにやさしいスイーツをあのへ」をコンセプトに日本に古くからある焼き芋を冷たい和モダンスイーツとして新たに発信。現在、カーゴバイクで人との繋がりを持った販売に加え、ネット販売でもファン層を広げている。実証実験では実店舗の出店を見据え、お客様の更なるニーズを把握する。

● 地域に根付くスイーツ&バル

事業者：河 賢男

日本橋問屋街に新たな息吹を。パティシエとパートナーを組み、地域に開けたパティスリーで癒しのスイーツを提供。夜はバルを営み、季節によっては料理教室なども開催、地域住民を巻き込みコミュニティ形成に資するサードプレイスを目指す。実証実験ではパティシエ特製の焼き菓子などの販売を行い、ニーズを把握する。

● エゾジカ革材ブランドづくり

事業者：安立喬

革製品を使った小物を製作するデザイナーであり、グラフィックやプロダクトデザインも行う。害獣処理されてほとんど活用されないエゾジカ革材を普及させる事業を行う問屋と連携し、独自ブランドの製作を予定している。現在、試作検討中のため実証実験には出店しない予定。

● 地域のコミュニティをつくるシェアダイニング

事業者：Hikari

日本酒 Bar8109 の日替わり店長、飲食店でのカレー部運用など、食を軸としたコミュニティづくりを行なっている。日本橋問屋街エリアではキッチンを起点とした他世代×地域×食をテーマに場づくりを行う。実証実験では甘酒ドリンクの提供他、体験型イベントを行う。

● Made in Japan、日本の手仕事

事業者：福島美穂

アパレルのデザイナーや内装デザインの経験を生かし、現代では数少ない国産の衣料品の企画、デザインを行う。親世代の縫製技術を継承すべく、デザインを施した国産の独自ブランドをつくる。実証実験では国産アパレルの試作品に触れ、試着ができる機会をつくる。

● ダンサーがつくる日本橋のダンススタジオ

事業者：吉田一貴

プロダンサーのパートナーと一緒にダンススタジオ兼レンタルスペースづくりを行う。地域住民が参加しやすいダンス教室の開催と、柔軟な用途に使えるレンタルスペースを運営予定。実証実験ではアートメイク×ダンス体験イベントを企画している。

○問合せ先

UR都市機構 東日本都市再生本部

都心業務部 事業推進第1課 (電話) 03-5200-8605

総務部 総務課 (広報担当) (電話) 03-5323-0625